

１ 社会・治安情勢

当地ＮＧＯの統計によれば、２０２４年１０月～１２月に発生した抗議デモの件数は８２９件で、前年（１２６７件）比で約３４％減（４３８件減）しました。７月２８日に実施された大統領選挙の結果を不服とした抗議デモは減少し、政治犯として身柄を拘束された囚人の釈放を訴えるデモや集会が全国的に増加しました。これらのデモや集会における参加者と治安当局との大きな衝突はなく、比較的落ち着いていますが、政治的緊張は継続しています。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（１） 全般

当地治安当局によれば、２０２４年１０月～１２月の全国の犯罪発生認知総件数は前年同期比で約１３％増加しました。全国的に、ＳＮＳ上で架空の商品等売りつける詐欺事件が増加傾向にあり、物価の上昇や低賃金が、そうした犯罪の動機につながっていると思われます。

（２） 各論

同当局によれば、最近流行の詐欺手口として、ＳＮＳ上で偽のショッピングサイトへ誘導し、被害者のクレジットカードの情報を登録させるような、いわゆるフィッシング詐欺が増加しているとのことです。不用意に個人情報登録しないよう注意が必要です。

（３） 邦人等の被害事案

なし。

３ 薬物・銃器事件発生状況

報道等によれば、１０月中旬、コロンビアと国境を接するスリア州において、国軍による大規模な作戦が実施され、９８０００キロのコカインをはじめ、薬物生成の原料とみられる化学薬品等が大量に押収されました。この作戦により６つの薬物密売・生産拠点が破壊されたとの報道もあります。治安当局の話では、こうした大規模な作戦によって薬物の拠点をつぶしても、別の場所に拠点が作られ、いたちごっこのような状況が続いているとのことです。コロンビア、ブラジル、ガイアナ、トリニダード・トバゴとの国境地帯では武装勢力が活動している場所もあることから、こうした地域へはどんな目的であっても近づかないようにしてください。

４ 誘拐・強盗事件発生状況

１０月と１２月にアラグア州内において、身代金目的の誘拐事件が計３件発生しました。また、カラカス首都圏の比較的安全とされている地域でも強盗事件が発生しており、脅迫の際に凶器や拳銃が使用されています。外出の際は、事前に治安情報を収集し、目的地までの経路や交通手段、時間帯を十分に検討してください。また、安全といわれているような場所でも周囲に対する警戒を怠らないようにしてください。